



# 町内会だより

第129号 2013. 5. 25  
東栄今本町内会連合会  
編集 総務・広報常任委員会  
電話番号 97-8644

## 豊かで明るい 安心・安全な地域づくり

(防災防犯活動の推進と環境美化の確立)  
—たがいに助け合い、協力し合って地域の輪を広げよう—



北小の『なんじゃもんじゃ』

### ◎ 市制61周年安城市発展祭 5月9日(木)

市民会館サルビアホール



安城市は昭和27年5月5日、37,704人で市制施行以来61年目を迎えました。『日本のデンマーク』と呼ばれた多角化農業。その後の農業大型化、大規模工場誘致、商業の隆盛を築き、農工商のバランスをとり、環境首都をめざして発展してきました。

安城市の発展に永年にわたり、功労のある29名1団体が表彰され、当町内会から2名の方が功労者表彰を受けられました。

黒野良定さん(今本町) 永年市交通指導員として交通安全思想の普及と事故防止に尽くす  
神谷冬彦さん(東栄町) 永年市消防団員、分団員として消防団活動と分団の統率に尽くす



発展祭の後半は、涌井史郎氏を迎えて安城市のこれからの見据えた基調講演がありました。

これからの時代は、人口減と国際分業の動向から地域間競争の時代へ進むとする前提で、例えば隣接する刈谷・豊田・岡崎・知立との違い、独自性を持つ必要があるという。20年後の未来のシナリオを曇天とするか晴天とするかは生産拠点の海外移転等による昼間人口の減少や、農地の宅地化による安城らしさの減少など「成長を前提とした街おこし」より、市民が誇りを持てる街、住みたい街、成熟を前提とした「まち残し」、魅力づくりが大切という。「農都」がキーワード。とても興味深い講演でした。

環境革命の時代には、これからのまちづくりを考える」講師 涌井史郎氏

### ◎ 町内会長の勤務、午後は交代制で

連合町内会として、東栄・今本両町内会長二名のうち、一名が勤務していればよいとする委員会報告が3年前に出され、この度実施することにしました。土日・祝日の行事が多く、過酷な勤務の見直しとして提案されたものです。

### ◎ 時事 風土 まなざし

#### 稚児行列 5月3日 崇福寺界限



開創1300年を記念して催された、稚児行列。700人余のお稚児さんと、その2倍以上の保護者で、崇福寺界限は大混雑となりました。長い歴史を物語る地元の行事。お稚児化粧をして歩いた体験が、本人の歴史となり、地域の歴史となる。

#### 狂犬病注射 5月9日 白山神社境内



白山神社境内に、地元のワンちゃん26頭が集合。獣医師の白衣にしり込みするワンちゃんもいましたが、仲間同士で吠えあうことがないことに感心。家族・皆さんに愛されて、健康で長生きしてほしいものです。ワン。

#### 一六の市感謝祭 5月11日 白山神社境内



当初二七市として始まった一六市も今年で55年目。感謝祭が催され、小雨の降る生憎の天候でしたが沢山の人が集まりました。お汁粉が振舞われ、東山中学の和太鼓演奏と安城北斗の演舞に見入り、一六市の隆盛を願いました。

### ◎ 子ども会だより さくら子ども会

晴天の下、子どもも大人も一緒に柳原公園の草取りをしました。これから一年よろしく願いいたします。あとで、麦茶と飴がふるまわれました。



### ◎ 納付期限

緑の羽根募金	5月末日
〔予定〕日本赤十字社費	6月末日
町内会費	6月末日